

## FD 関連研修会 参加報告書

主 催	名城大学 大学教育開発センター
企画名称・テーマ	第 13 回FDフォーラム「改めてFDについて考える」
開催日<会場>	2011 年 11 月 2 日 (水) <名城大学>
参加者所属	教学部 教育開発課

### 参加報告

11 月 4 日 (金) に開催された第 13 回名城大学FDフォーラムに参加した。

今回のフォーラムでは、名古屋大学高等教育センター准教授、中井俊樹氏による「FD の義務化から 3 年～原点に立ち返って考える～」の講演と、名城大学で学部FD支援の一環として実践されている「教育の質保証プロジェクト」の成果報告がおこなわれた。

今回参加した主な目的は、フォーラム第 2 部で成果報告がおこなわれる「教育の質保証プロジェクト」が、現在、本学の教授法開発室で検討している「学部FD支援」と非常に類似している取り組みで、その内容や成果を確認する事がその検討に向けて非常に有益と考え参加させていただいた。

第 1 部の名古屋大学高等教育センター准教授、中井俊樹氏による発表では、FD の歴史的経緯を整理したもので、「これからどのようなFDが必要となるか」といったこれからの課題をうまく整理した発表であった。

特に、FD の持つ意味が多様化している中で、標準化されたものを全学体制で実施する大規模なFDより、今は個々の教員のニーズを拾い上げ対応していく事が重要であり、全学的に取り組むにせよ部局別・キャリア段階別等の一定の仕分けは必要、との意見に感銘を受けた。

第 2 部では、「教育の質保証プロジェクト」の成果報告がおこなわれ 4 学部からの成果発表がおこなわれた。

「教育の質保証プロジェクト」はもともと、外部資金 (GP) 獲得に向けた素材を集めるために平成 19 年より実施されていた取り組みで、GP が廃止された後は、学部から提案された教育改善に向けたプロジェクトに対し、審査をおこない補助金を提供する制度へと変更された。平成 23 年度は 8 プロジェクトが採択され、学部での教育改善がおこなわれている。

フォーラム終了後、名城大学大学教育開発センターの方と、この「教育の質保証プロジェクト」の歴史的経緯や審査までのスケジュール、課題点などについてヒアリングをおこなえた事も大変有益であった。

以上